

「PyVideoPlayer」 V1.4

【ソフトの概要】

シンプルな動画再生プレイヤーです。

【作者への連絡先】

(下記の「XYZ」を「アットマーク」に変えてメールしてください。
arihiko2023XYZkamon.ne.jp)

【取り扱い種別】

フリーソフト

【動作環境】

Windows11で動作確認しています。

【インストール・アンインストール方法】

任意のフォルダにPyVideoPlayer.exeを置いて起動するだけです。

レジストリは変更しませんので安心です。

いらなくなったら、そのフォルダごと削除すればOKです。

copyright Arihiko.

//

シンプルな動画再生プレイヤーです。

♪お使いのパソコンに設定されているコーデックで再生できるメディアを再生できます。

【メディアファイルの開き方】

1. [Open]でメディアファイルを開いたら、Play/Pauseで再生/ポーズしてください。

2. 関連付け等の引数を伴う起動ができます。例: メディアファイルをPyVideoPlayer.exeから開く

3. [Drop]のクリックでドロップエリアが表示されますので、そこにwindowsエクスプローラ等から
メディアファイルをドラッグ&ドロップしてください。すると、そのメディアファイルを再生で
きます。

([Drop]をクリックするたびにドロップエリアの表示/非表示ができます)

♪再生時間プログレスバーのクリックでその位置へシーク、マウスホイール(向こう側:巻き戻し、
手前側:早送り)

ができます。

♪[Shot]でスクリーンショットを撮る事ができます。撮った画像ファイルはPyVideoPlayer.exeと同じフォルダに

canvas_screenshot.pngというファイル名で保存されます。

♪[Normal]ボタンで画面を標準サイズに戻す事ができます。

♪[Play/Pause]再生/ポーズ、音量調整、再生速度変更(0.2~3.2倍)、[Rate
1X]で再生速度を標準にすることができます。

♪プレイヤー画面では、再生/ポーズ(ボタンorスペースキー)、音量、ミュート、プログレスバーで
再生位置シーク

(クリックorドラッグor←キーor→キーで再生位置変更)、

フルスクリーン切り替え(右下の拡大ボタン、画面のダブルクリックでOn/Off、Escキーでもとの大きさの画面に戻す)

ができます。

※ソースコードPyVideoPlayer.py(Flet0.28.3対応)を同梱しておりますので、ご自由にどうぞお使いください。

【変更履歴】

2026/01/02 V1.0 Python Flet(0.28.3)でexe化

2016/01/05 V1.3 メディア再生画面を標準の再生画面に戻した。

メディアファイルのドラッグ&ドロップに対応。関連付け等の引数を伴う起動に対応。

2016/01/05 V1.4

プログレスバーのマウスホイールで0より小または再生時間より大を超えてシークエラー
していたバグを訂正。